

ゆりかもめ yurikamome



松原交番の裏にある武田耕雲斎等の墓。鳥の鳴き声、そよぐ風の中で耕雲斎が迎えてくれます。

ゆりかもめ 第39号に寄せて

敦賀市観光部長 織田 一宏

おもてなしをいただき、心よりお礼申し上げます。ボランティアガイドの皆様にも多大なるご協力を賜りながら事業を進めております。鉄道日本遺産ですが、百十年前に開通した欧亜国際連絡列車から北陸新幹線敦賀開業まで時代は変わっても、改めて敦賀が交通の要衝としてあり続けていることを再認識しております。

敦賀には様々な歴史遺産があり、敦賀を訪れる方には是非それらを知っていただきたいと思っております。また、観光資源の磨き上げという観点からは観光客の皆様だけでなく、敦賀の未来を担う子供たちを含め、市民の皆様にもより深く知っていただくことが必要であり、そのためにも、ボランティアガイドの皆様のお力添えが必要不可欠となります。

新幹線で敦賀へお越しになられたお客様が、ボランティアガイドの皆様や市民の皆様との交流を経て「また来たい」と思っていたら、そんな期待に胸を膨らませております。一人でも多く、訪れた方に敦賀のファンになっていただきたい。そうしたまちづくりのために、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



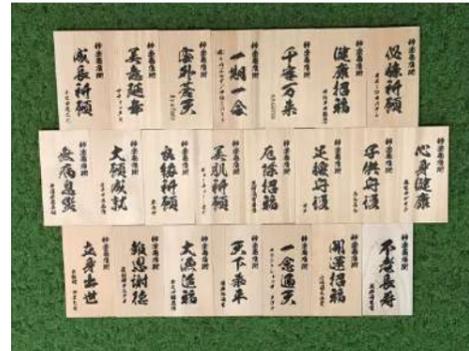
観光ボランティアガイドの皆様には、日頃より市内外から訪れるお客様への心温まる

ごあいさつ 神楽町1丁目商店街 西島 由佳里 さん



はじめまして、神楽町1丁目商店街の西島由佳里です。3月より神楽町で「神楽の木札めぐり」という

取り組みを始めました。商店街の協賛店にて、そのお店の商品やサービスにちなんだ祈願の言葉が書かれた木札(七百年)を購入し、氣比神宮で御朱印をいただいて下さい。御朱印のある神楽の木札を協賛店に持参すると割引やプレゼントなどの特典を受けることができます。氣比神宮とその門前町である神楽町街をめぐって町歩きを楽しんでもらいたいと企画しました。ここでしか手に入らないオリジナルの木札は全部で22種類あります。ひとつの木札ですべての協賛店の特典を受けることができ、木札は御朱印をいただいた日から一年間有効です。



INFORMATIONs

☆敦賀市立博物館

敦賀コレクション逸品陳列：博物館の絵画コレクションの中から以下のとおり作品が展示されます。「花と鳥」(3/16~4/19)、「鯉づくし」(4/20~5/26)、「水を描く(仮)」(5/27~6/30) 常設展示では「みなと敦賀を彩る歴史と文化」(3/16~6/14)が、開催されます。GWのワークショップでは「オリジナル鯉のぼり掛軸をつくろう」(5/3、5)も開催。



☆福井県立歴史博物館

「戦国越前の謎を解く」として、以下のとおりパネル展、企画展示が行われています。パネル展 「戦国越前の謎を解く ~明智光秀(「青の10年」)・一乗谷朝倉氏遺跡編~」(1/3~5/17) 企画展 新収蔵品展「戦国越前の謎を解く~真柄十郎左衛門の正体など~」(3/12~5/10)

ガイドの依頼・問合せ

ガイドの依頼及び問合せは、敦賀観光協会にて受付けています。申込み用紙は、下記のアドレス(敦賀観光案内サイト漫遊敦賀)からダウンロードし、必要事項を記入していただいた後、敦賀観光協会宛てにお送りください。

敦賀観光協会 TEL 0770-22-8167
FAX 0770-22-8197
<https://www.turuga.org>

ガイドメンバー募集中

観光ボランティアガイドつるがは、随時メンバーを募集しています。敦賀のことをもっと知りたい方、観光に来られた方に紹介したい方、人と接するのが好きな方、入会に制限はありません。下記の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

ボランティアガイドつるが TEL 0770-21-0056
敦賀観光協会 TEL 0770-22-8167

編集後記

表紙の写真は「武田耕雲斎等の墓」の広場ですが、現在、松原神社にあった鮭蔵を移設するために整備が進められています。約50年前、社会人になった時の初任地は茨城県でしたが、天狗党のことはあまり知らずにいました。その後、敦賀に転勤となり、歴史も調べることで、天狗党の悲しい物語を知ることになりました。その後、縁があり、水戸に出かけ、弘道館に掲げられた「尊攘」の文字が強烈な印象で迫ってきたことを思い出します。雪の降った後、新保の集落を訪れ、当時の天狗党一行の辛さはどれ程であったのか、日本の将来のことを思っていることでありながら、悲しい結末を思いだしてしまいました。今、ウクライナ侵攻の報道を見る中で、平和の尊さ、有難さを感じるとともに、様々な観点から、国の強さや安全保障の重要性を考えます。敦賀ムゼウムでは5月10日まで「人道支援金」を受け付けていますので、ご家族で見学されて平和のこと等について話し合われてはいかがでしょうか。(将)

敦賀のみどころ② 天狗党ゆかりの地

敦賀の地は、古代から近代に至るまで、それぞれの時代に湊或いは港を通じた大陸や国内各地との交易、街道を通じた各地との往来、鉄道による発展などまさに結節点としてそれぞれの時代に様々な歴史が積み重なり、市内各所に魅力ある「みどころ」が面の様に広がっています。そのような中から、今回は幕末の悲話として敦賀で語り継がれる「天狗党ゆかりの地」を紹介します。

江戸時代末期、外国から開国を迫られる中、天皇を尊び、外国勢力を打ち払おうという尊王攘夷の思想が唱えられた。水戸藩でもこの思想が高まり、1864年、「水戸天狗党」が筑波山で挙兵し、一橋慶喜に攘夷を促すため、武田耕雲斎を総大将として約千人が、11月1日、京都に向け出発した。途中何度も行く手を阻まれながらも漸く12月11日新保に着いたが、17日、葉原に布陣していた加賀藩に投降した。加賀藩の総大将永原甚七郎

は、天狗党の国を思う心に深く感動して手厚く対応した。しかし翌年、田沼意尊率いる幕府軍が敦賀に到着すると状況は一変し、天狗党一行は舟町(蓬萊町)の鮮蔵の中に監禁されることになった。2月1日、田沼一行は、永建寺(松島町)に本陣を置き、永覚寺(金ヶ崎町)に仮の白州を設け、形式的な調べの後、353人を死罪に、ほか遠島、水戸渡しや追放等の厳しい判決を下した。

2月4日、武田耕雲斎は、討つもはた討たれるもはた哀れなり

同じ日本の乱れと思えばという辞世の句を残し、来迎寺(松島町)に設けられた刑場で斬首された。敦賀の諸寺院は、処刑された天狗党のた



雪の中の新保陣屋



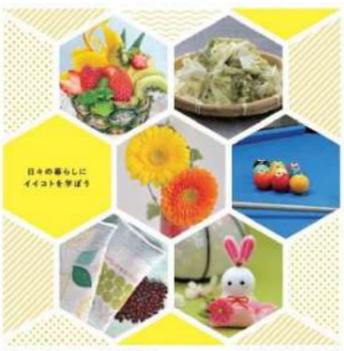
神社境内の紅梅 (3月中旬)

まちゼミに参加して

敦賀では4回目の開催となった「まちゼミ」。約20年前に愛知県岡崎市で始まったイベントと言われています。今回も、昨年に引き続き参加人数や場所に制限を設けるなど様々なコロナ対策が施され、「日々の暮らしにイイコトを学ぼう」と多くの方が楽しく参加されました。ガイドつるがの会員も参加しましたので報告します。

2月26日(土) 紅茶とハーブの店「茶蔵」さんで「あつたかクリーミーなチャイを作ろう」に参加しました。

当日の受講者は私と、同じく観光ボランティアガイドつるがの広田会員のみ。参加予定の親子連れの方は、コロナの感染防止のため、キャンセルされたとか。コロナの影響がこんなところにも及んでいるのかと少し残念な気もしました。ここ茶蔵は大内夫妻が経営する店で、紅茶やハーブの販売とここでのお茶で一服



「まちゼミ」のチラシ(上) とゼミの様子(下)



先にお湯を沸かし、茶葉を入

めには法要を営んだ。その後、「松原神社」が創建され、天狗党は悲劇の幕末志士として祀られることになった。神社の境内には、水戸から献木された「偕楽園の梅の木」がたくさん植樹されている。

天狗党の遺徳を顕彰し後世に伝えるため「水戸烈士遺徳顕彰会」が、神社の維持管理を行っており、毎年10月10日には、水戸からも多くの関係者が訪れて「例大祭」が行われる。小学生の「姉妹都市親善友好少年交歓研修」も行われ友好親善を深めている。武田耕雲斎等の墓の他、天狗党ゆかりの場所として加賀藩と対峙した新保陣屋、投降した後に収容されていた本勝寺、本妙寺、長遠寺などがある。(森 将臣)

武田耕雲斎等の墓



水戸烈士遺徳顕彰会

丸山 誠

武田耕雲斎って誰? この問いに答えられる敦賀市民が何人いるでしょうか。ほとんどの人が観光地図などで「武田耕雲斎等の墓」という文字を見て、名前くらいは知っているけど・・・ではないでしょうか。では天狗党とは? 水戸と敦賀はどうして姉妹都市なの? 武田耕雲斎等の墓って言うけど武田さん以外は誰で、何人その墓の下に眠っているの? えっ! そんなにいつぺんに聞かれても答えられるわけないじゃん。

そうですよ、でも私たち敦賀市民には知っておいてほしいのです。幕末に起こったこの大事件によって明治維新が三年早まったと言われます。あのお墓の下には斬首された三百五十三人も人が埋められています。その後彼らは神様になって松原神社に祀られているので”神社とお墓が向かい合う”という全国的に非常に珍しい形となっています。

ガイドの活動と楽しい出来事

ガイドつるがの会員は、観光客の皆さんへのご案内等を行いながら、楽しい出来事も沢山経験しています。今回、市内の皆様から「金ヶ崎トレイル」のガイド依頼があり、同行取材したのでその様子をご紹介します。

今回の「金ヶ崎トレイル」は、中池見湿地〜天筒山〜金ヶ崎を歩くコースで「ルートや季節によって違った顔が見られ、身近で豊かな敦賀の歴史と自然を満喫しよう」などと紹介されています。

当日(3月26日)は、春の嵐、大荒れの天気、朝から風が強く、雨も降っていました。参加者の皆さんは時間通り東郷公民館に集合し、雨具を着て出発に備えています。主催者の「荒天なので、中池見湿地往復のコースに変更する」との説明にも中止にならずに良かったという様子で、小雨の中を出発し、30名の参加者は悪天候も楽しんでる雰囲気さえありました。

中池見湿地の休憩所ではガイドつるが増田会長の湿地の歴史等の説明がありました。休憩後、風雨の中、突風に煽られながらも皆さん公民館

ガイドつるが 定例会の開催

2月18日夕、南公民館にて、嚴重なコロナ感染対策のもと、令和3年度ガイドつるが定例会が開催されました。定例会は、年度途中での活動状況を報告し、会員からの意見も踏まえて今後の活動に反映する目的で開催しています。

今回は、改定作業を進めている「みなと・つるが・いまむかし」の状況説明を行い、「暫定印刷版」を配布して内容確認を要請しました。

また、会長から今年度の取り組み状況の報告があり、参加した会員からは次年度に向けた取り組みや、会員拡大に向けたアイデアについて様々な意見も出されました。これらの意見も踏まえて次年度計画を策定し、積極的に取り組んで参ります。



に無事戻り、地域の街道や歴史などについての説明に熱心に聞き入っていました。

最後に主催者から「次回、改めて天筒山、金ヶ崎も歩いて学びましょう」と挨拶があり皆さん笑顔で帰られました。悪天候の中お疲れ様でした。敦賀は歴史が積み重なり自然も豊かで魅力ある「みどころ」が面の様に広がっています。これらの楽しいコースになると考えています。(森 将臣)